

家庭科学習指導案

石川県立小松高等学校・教諭

指導日時・教室 平成 19 年 11 月 7 日（水） 6 限目 教室名 被服実習室
 対象生徒・集団 普通科 1 年生 40 人（内訳 17H 40 人）
 科目名 家庭基礎（単位数 2）
 使用教科書 新家庭基礎（実教出版）

2 単元名 高齢者とかかわる

3 単元の目標

- ・ 高齢者の心身の特徴と生活に関心をもち、高齢者を肯定的にとらえようとしている。 【関心・意欲・態度】
- ・ 高齢者の生活の実態と課題について具体的に考えを深めている。 【思考・判断】
- ・ 事例研究や疑似体験を通して、高齢者と適切にかかわることができる。 【技能・表現】
- ・ 高齢者の心身の特徴や生活及び福祉について理解している。 【知識・理解】

4

(1) 生徒の状況

理解力が高い。日常生活において勉学や部活動に忙しく、祖父母と同居していても生活時間のずれが大きいせい、高齢者とかかわりが少ない生徒も多数いる。

(2) 指導方針・方法

絵本や高齢者疑似体験から、高齢者の心身の特徴や生活について理解を深めさせたい。体験学習を行うことにより、相手の気持ちになって考えることができ、接し方も変わるのではないかと考える。また、高齢者の生き生きとした生活の事例から、生徒自身の人生設計の授業にもつなげていこうと考えている。

5 単元の指導計画（総時間 5 時間）

第一次 高齢社会に生きる私たちの暮らし（1 時間）

第二次 歳を重ねること（2 時間）

1 時 高齢者の心身の変化（高齢者疑似体験）

2 時 高齢者の家族（絵本『おばあちゃん』）・・・本時

第三次 豊かな高齢期を迎えるしくみ（2 時間）

6 本時の指導と評価の計画（第二次 第2時）

(1) 本時のねらい

- ・高齢者の家族の問題点を考え、家族の一員として高齢者との関わりについて考えを深めている。【思考・判断】(ワ)
- ・高齢者家族の適切な関わり方について発表することができる。【技能・表現】

(2) 準備・資料等

絵本、ワークシート、付箋、添付用紙、マジック

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
5分	前時の復習 本時の目標の確認	高齢者の心身の特徴を思い出す。 本時の目標を知る。	ワークシート、資料、付箋の確認	
35分	介護を必要としている家族の課題 家族がかかえる問題点をあげよう。 家族が協力できること 高校生が家族としてできること 家族の一員として高齢者とのかかわりについてどのようなことができるか考えてみよう。	絵本『おばあちゃん』を読む 絵本から感じたことを付箋に書き出す。 家族が支えあっていくためにはどうすればよいか考える。 グループで意見をまとめ発表する。	登場人物それぞれの印象について絵にとらわれず感じたことを付箋に書かせる。 家族関係がよりよくなる方法について意見がでるよう机間指導する。 登場人物の気持ちも考えて意見を出すよう指導する。 高齢者の心身の特徴、認知症の人との接し方など机間指導する。	高齢者の家族の問題点を考え、家族の一員として高齢者との関わりについて考えを深めている。【思考・判断】(付箋、ワークシート) 高齢者家族の適切な関わり方について発表することができる。【技能・表現】(行動観察)
5分	本時のまとめ 次時の予告	ワークシートに記入する		

参考資料 『おばあちゃん』 文 谷川俊太郎 絵 三輪滋 ばるん舎